



矢野 邦夫 先生
浜松市感染症対策調整監
浜松医療センター感染症管理特別顧問

’81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、’89年 フレッドハッチンソン癌研究所、’93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。’96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床・エイズトレーニングセンター臨床研修修了。’97年 感染症内科長／衛生管理室長、’08年 副院長、’20年 院長補佐、’21年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

Click!

COVID-19 mRNAワクチンの3回目接種の副反応

現在、日本においても、医療従事者を対象にmRNAワクチンの3回目接種が予定されている。既に2回接種した人の中には、高熱や強い倦怠感などを経験した人も数多く、3回目の接種によって、さらに強い副反応や予期せぬ副反応がみられるのではないかと心配している人もいる。CDCがmRNAワクチンの3回接種を完了した12,591人について、副反応を報告しているので紹介する(1)。

[調査]

- CDCは、COVID-19ワクチン接種後の副反応に関する情報を得るために、スマートフォンベースの自主的な安全監視システムであるv-safeを開発した。
- ワクチンの適格性のある接種者は、v-safeに登録できる。これまでの登録者は3回目接種したことを報告でき、新規登録者は接種されたCOVID-19ワクチンのすべてに関する情報を報告できる。
- V-safe健康調査は、各接種後0～7日目に送信され、それには局所注射部位、全身反応、健康への影響に関する質問が含まれる。
- ワクチン有害事象報告システム (VAERS) のスタッフは、ワクチン接種後に医療処置を求めた登録者に連絡し、必要に応じてVAERSレポートの完成を依頼した。

[登録者]

- 2021年8月12日から9月19日までの期間に、合計22,191人のv-safe登録者が、2回接種の完了後に3回目接種したと報告した。このうち、14,048人(63.3%)が女性であり、年齢別では、18～49歳、50～64歳、65～74歳がそれぞれ約30%であった。
- 殆どの登録者(21,662人; 97.6%)は、最初の2回接種と同じメーカーの製剤で3回目を接種した。それにはModernaの98.6%とPfizer-BioNTechの98.2%が含まれた。
- 少数の登録者(341人; 1.5%)が、最初の2回接種とは異なるメーカーの製剤での3回目接種、もしくは最初の2回接種後にJanssenワクチンを接種(10人; 0.05%)、もしくはJanssenワクチン接種後に任意のメーカーの製剤(178人; 0.8%)の

接種をした。

- 22,191人のv-safe登録者のうち、最初の2回接種の完了から3回目接種までの間隔の中央値は182日(四分位範囲[IQR]= 160-202日)であった。Janssenワクチンを2回接種した患者では、投与間隔の中央値は短かった(84日、 IQR =16~136日)。

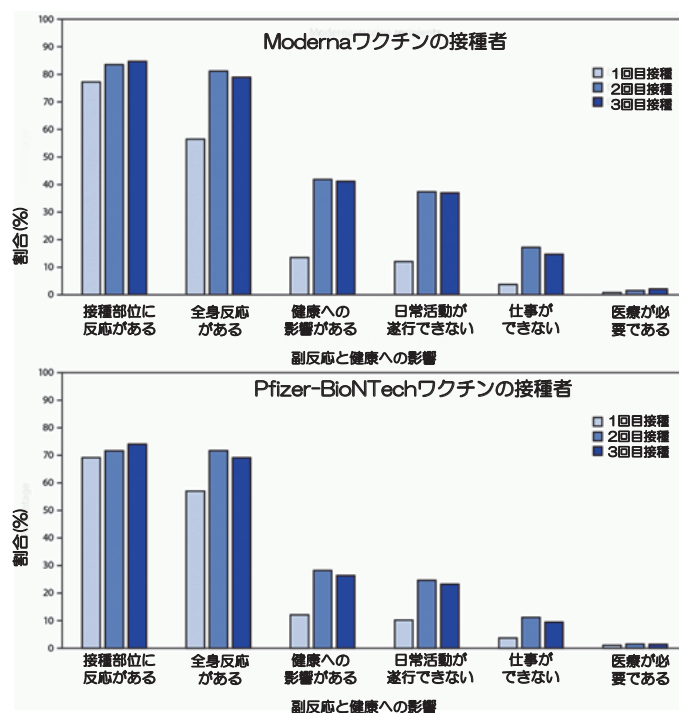
[副反応]

- 局所反応(16,615人;74.9%)および全身反応(15,503人;69.9%)は、3回目接種後の週(最も多いのは接種翌日)に頻繁に報告された。多く報告された副反応は、注射部位の疼痛(15,761人;71.0%)、倦怠感(12,429人;56.0%)、頭痛(9,636人;43.4%)であった。
- 22,191人の3回目接種者のうち、7,067人(31.8%)が健康への影響を報告し、6,287人(28.3%)が通常の日常活動を行うことができなかった。そして、401人(1.8%)が医療を求め、13人(0.1%)が入院した。
- 3回の接種のすべてを同じmRNAワクチンを用いて接種した21,658人のv-safe登録者のうち、12,591人(58.1%)が3回接種すべての健康調査を完了した。2回目接種後に局所反応または全身反応を報告したのは77.6%と76.5%であったが、3回目接種後ではそれぞれ79.4%と74.1%であった。3回目接種後には予期しない副反応はみられなかった。これらの副反応の殆どは軽症または中等症であった。
- Modernaを3回接種した登録者(6,283人)では、局所反応は2回目よりも3回目の後に多く報告された(5,249人;83.5%および5,323人;84.7%; p 値= 0.03)(図)。全身反応は、2回目よりも3回目の後が少なかった(5,105人;81.3%および4,963人;79.0%; p 値<0.001)。
- Pfizer-BioNTechを3回接種した登録者(6,308人)では、局所反応は2回目よりも3回目の後に多く報告された(4,523人;71.7%および4,674人;74.1%; p 値<0.001)。全身反応は、2回目よりも3回目の後が少なかった(4,524人;71.7%および4,363人;69.2%; p 値<0.001)。
- mRNAワクチンの3回目接種後の疼痛は、殆どが軽症(4,909人;51.4%)または中等症(4,000人;41.9%)であった。激しい疼痛(日常の活動を困難または不可能にする疼痛として定義される)は637人(6.7%)で報告された。

[結 論]

- 22,191人のv-safe登録者からの安全性データの初期解析では、mRNAワクチンの2回目接種よりも3回目接種の後では、局所反応が僅かに増加し、全身反応が僅かに減少することが示された。予期しない副反応のパターンは確認されなかった。
- 殆どの局所および全身反応は、軽症から中等症の一時的なものであり、ワクチン接種の翌日に最も多く報告された。

図 Moderna (N=6,283) またはPfizer-BioNTech (N=6,308) のCOVID-19ワクチンを3回接種し、各接種後0~7日目に少なくとも1回のv-safeの健康調査を完了した人が報告した副反応と健康への影響 — 接種回数別 — 米国、2021年8月12日~9月19日



[文献]

- (1) Hause AM, et al. Safety monitoring of an additional dose of COVID-19 vaccine — United States, August 12–September 19, 2021
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/70/wr/pdfs/mm7039e4-H.pdf>

こちらにも公開しています。

メディコン CDCガイドライン

検索

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2021 BD. All rights reserved.

